

2017年10月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) チェ・ゲバラ没後50周年式典
- (2) 独立戦争開始149周年式典
- (3) サイバー社会2017年フォーラム開催
- (4) 移民政策の変更の発表
- (5) 国内鉱業プロジェクト

2 外交

- (1) 第14回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）キューバ参加
- (2) 在米キューバ大使館員15名の国外退去命令に対するロドリゲス外務大臣の記者会見
- (3) ラウル・カストロ国家評議会議長とラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）事務局長の会談
- (4) キューバと中国の経済協力の合意
- (5) 在米キューバ人第4回集会の開催
- (6) ドスサントス伯バイア州知事によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬
- (7) プラブー印商工大臣によるディアスカネル国家評議会第一副議長表敬

【本文】

1 内政

- (1) チェ・ゲバラ没後50周年式典

8日、チェ・ゲバラ没後50周年式典がビジャ・クララ県サンタ・クララにおいて、ラウル・カストロ国家評議会議長等の出席の下開催された。式典においてディアスカネル国家評議会第一副議長が演説を行った。

- (2) 独立戦争開始149周年式典

10日、独立及び建国の父母とされるマヌエル・デ・セスペデス及びマリアナ・グラハレスの遺灰が、サンティアゴ・デ・クーバのサンタ・イフィヘニア墓地に埋葬された。式典にはラウル・カストロ国家評議会議長、ディアスカネル国家評議会第一副議長他総勢350名が参列した。

- (3) サイバー社会2017フォーラム開催

16-20日、国内外の企業及び専門家が参加するサイバー2017年フォーラムがハバナにて開催された。閉会式にはディアスカネル国家評議会第一副議長が出席した。

(4) 移民政策の変更の発表

28日、キューバ政府は、以下の政策を2018年1月1日付で適用することを決定した。

ア キューバ人移民のキューバへの渡航に際し、要件とされていた旅券の許可 (Habilitacion) を廃止。

イ 海外在住のキューバ人は、レクリエーション目的の船舶で、ハバナ及びバラデロのマリーナを通じて出入国することを可能とする。今後条件が整えば出入国可能なマリーナを拡大する。

ウ 違法にキューバを出国したキューバ人のキューバへの再入国を可能とする。但し、その出国がグアンタナモ米海軍基地を経由した場合を除く。

エ 海外在住のキューバ人の海外出生の子女がキューバの市民権及び身分証明書を得るための居住要件を撤廃する。

(5) 国内鉱業プロジェクトの発表

約3億米ドルの鉱業分野の投資プロジェクトが実施されている。工事はピナル・デル・リオ県において実施。同計画では毎年数百万トンの鉱物を採掘するとされ、5万トンの亜鉛と2万7500トンの鉛からなる15万トンの凝縮化合物を採掘するとしている。本プロジェクトは輸出向けであり、11年間の採掘を保証されている。

2 外交

(1) 第14回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム (STSフォーラム) キューバ参加 (日本開催)

フィデル・カストロ・ディアス・バラート国家評議会科学顧問率いる科学調査団が9月30日から10月3日にかけて開催されたSTSフォーラム参加のため訪日。

(2) 在米キューバ大使館員15名の国外退去命令

3日、米国政府が在米キューバ大使館員15名に国外退去命令を下した。これに対し、ロドリゲス外務大臣が記者会見を開き、米国の対応に抗議する声明を発表した。

(3) ラウル・カストロ国家評議会議長とラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) 事務局長の会談

5日、ラウル・カストロ国家評議会議長はバルセナECLAC事務局長と懇談し、地域情勢、ハリケーン・イルマ及びマリアによる影響、メキシコにおける地震について意見交

換した。バルセナ事務局長は、ハバナにて開催のラテンアメリカ・カリブ女性に関する地域会議第56回執行委員会会議開催への支援に対する謝意を表明した。

(4) キューバと中国の経済協力の合意

25日、外国貿易・外国投資省において、キューバと中国の経済通商関係を促進させる5つの法的文書がマルミエルカ同省大臣と駐キューバ中国大使によって署名された。また、ハリケーン・イルマによる被害に遭った地域の復旧のため、中国から100万ドルの寄付がなされ、追加の援助物資も届いた。

(5) 在米キューバ人第4回集会の開催

28日、ワシントンにおいて在米キューバ人の第4回集会が開催され、ロドリゲス外務大臣が同集会に出席した。

(6) ドスサントス伯バイア州知事によるラウル・カストロ国家評議会議長表敬

30日、ラウル・カストロ国家評議会議長は、ハバナ国際見本市のブラジル政府代表団長を務めるドスサントス・バイア州知事の表敬を受けた。会談において、バイア州とキューバの歴史や文化的な共通点、「より多くの医師を(Mas Medicos)」プログラムによるバイア州へのキューバ医師団派遣協力等、両者の緊密な関係が強調された。

(7) プラブー印商工大臣によるディアスカネル国家評議会第一副議長表敬

30日、ディアスカネル国家評議会第一副議長は、ハバナ国際見本市に参加する企業団を率いて来訪中のプラブー印商工大臣による表敬を受けた。ディアスカネル第一副議長はハリケーン・イルマの被害に対する、トラクター等農業用機材や医薬品等の印政府による寄贈に謝意を示した他、両国の経済通商金融関係を拡大させるための可能性等について話し合われた。

3 要人往来

(1) 来訪

バルセナ・ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) 事務局長
ムデンダ・ジンバブエ国会議長
プラブー印商工大臣

(2) 往訪

フェイデル・カストロ・ディアス・バラート国家評議会科学顧問訪日
マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣訪仏
バルデス・メネンデス国家評議会副議長ボリビア訪問

プリエト文化大臣ベルギー訪問

マレロ観光大臣カナダ訪問

コンセプション検事総長ベトナム訪問

ロドリゲス外務大臣訪米